第34回分子シミュレーション討論会 講演プログラム

(2020年11月28日最終更新)

主催 : 分子シミュレーション学会 会期 : 2020 年 12 月 15 日 (火)

開催方式 : オンライン

HP : https://sympo.mol-sim.jp/mssj34/

講演番号1桁目 : セッション番号

講演番号 2.3 桁目: 通し番号

講演番号記号 : P=ポスター発表 講演者記号記号 : ○印=発表者

12月15日 (火)

-- 午前の部 --

10:00-12:00 セッション1

- 101P 分子動力学シミュレーションを用いたアク アポリンとアクアグリセロポリンにおける 水分子透過現象の比較 (慶大院理工¹,慶大医²,慶大理工³)○田島
 - 慶太 1 ,安井正人 2 ,佐藤洋平 3 ,山本詠士 3
- 102P 空間分割表式によるタンパク質近傍の水和 エネルギー論

(阪大院基礎工)○山本博輝,松林伸幸

103P 格子ボルツマン・ブラウン動力学連成シミュレーション法を用いたエンジンオイル中の VII の挙動解析

> (兵庫県立大)○澤井源太郎,川手大樹,臼 井颯馬,Deboprasad Talukdar,鷲津仁志

104P 環状高分子メルトの振動状態およびダイナ ミクスの粗視化分子動力学シミュレーショ ンによる解析

> (阪大院基礎工 1 ,東大院総合文化 2) 〇後藤 頌太 1 ,水野英如 2 ,金鋼 1 ,松林伸幸 1

105P 水和シニョリン分子のエネルギー地形と フォールディング転移

(金沢大院自然 1 , 金沢大理工 2)〇鈴木大輔 1 , 三浦伸 2

106P ペプチドのスタック構造形成に対する塩効 果の全原子相互作用解析

> (阪大院基礎工)○諏訪原一輝, 笠原健人, 松林伸幸

- **107P** 分子動力学計算による p53-C 末端部位の DNA 結合機構の解明 (東工大生命) ○平悠太,Tran Duy, 北尾彰 朗
- 108P PaCS-MD/MSM を用いたタンパク質 タンパク質複合体の結合親和性評価 (東京工業大学大学院生命理工学院)○宮 澤佳希,Tran Phuoc Duy, 竹村和浩, 北尾彰 朗
- 109P マルチウォーカーの再配置に基づく効率的なタンパク質構造サンプリング法の開発 (筑波大生命環境 1 , 筑波大計セ 2) \bigcirc 保田拓範 1 , 森田陸離 2 , 重田育照 2 , 原田隆平 2
- 110P 分子動力学法に基づくタンパク質振動スペクトルシミュレーションに向けた静電相互作用モデルの改良 (静岡大工)○三宅雅輝,鳥居肇
- 111P 添加剤存在下での尿素結晶成長の MD 解析 (大阪大学 大学院基礎工学研究科)○田 中泉利, 松林伸幸
- 112P フッ化水素の静電的異方性と水素結合に関わる静電分極を表す相互作用パラメーターの電子密度解析に基づく導出 (静岡大工)○齋藤健人,鳥居肇
- 113P エネルギー表示の一般化 Langevin 方程式 の定式化と溶媒和ダイナミクスへの 応用 (阪大院基礎工 1 , 京大 ESICB 2) \bigcirc 沖田和 也 1 , 笠原健人 1 , 松林伸幸 1,2
- 114P 粗視化シミュレーションから得られた高分子の粗視化構造の全原子化 (福井大院工)○竹多泰之,古石貴裕

- 115P せん断流れ下におけるヤヌスコロイド-ポ リマー混合水溶液の自己集合と粘性挙動 (慶大院理工¹, 慶大理工², Johannes Gutenberg Univ. Mainz³) ○小林祐生¹, 荒井規 允². Arash Nikoubashman³
- 116P PVA ハイドロゲルの MD シミュレーションを用いた分子レベル解析 (阪大院基礎工)○大隅理佐, 山田一雄, 松林伸幸
- 117P ベイスンホッピング法を用いた水和生体分子のエネルギー地形探索 (金沢大院自然)○吉森匠, 三浦伸一
- 118P 人工知能と分子シミュレーションの連携に よる逐次学習型材料設計 (豊田中研)○吉川信明, 梶田晴司, 武市憲 典
- 119P 分子動力学シミュレーションを用いた高分子グラフトナノ粒子の結晶多形の解析 (慶大理工)○石山将成,浅井誠,泰岡顕治
- 120P カーボンナノチューブに閉じ込めた水分子の振動解析
 (慶大理工¹, 工学院大工², 富山大工³)○三浦俊次¹, 平塚将起², 山本詠士¹, 石山達也³, 泰岡顕治¹
- 122P 多価の相互作用を持ったタンパク質による 相分離解析のためのメソスケール分子動力 学モデルの開発 (京大理)○村田隆,高田彰二
- 123P 大規模分子シミュレーションによる生体膜融合メカニズムの解明 (慶大理工¹,オックスフォード大生物化学²)
 ○岡田清志郎¹,泰岡顕治¹,山本詠士¹,Mark Sansom²
- 124P 分子動力学法による Si 結晶成長速度の面 方位依存性の解析 (東レリサーチセンター)○澤田啓介, 垂 水喜明, 清水夕美子
- 125P Id-PaCS-MD : PaCS-MD に基づくタンパク質 リガンド結合経路探索 (筑波大院生物 1 , 筑波大計セ 2) \bigcirc 會田勇 $4^{1,2}$, 重田育照 2 , 原田隆平 2

- 126P FMO-DPD 連携による脂質ナノ粒子、ペプチドのマルチスケールシミュレーション(立教大理 1 ,星薬大 2 ,東大生研 3 ,東北大工 4 ,千葉大院薬 5)〇奥脇弘次 1 ,西田瑠花 2 ,氏家かれん 2 ,土屋裕大朗 1 ,望月祐志 1,3 ,福澤薫 2 , 3 ,米持悦生 2 ,田中浩揮 5 ,秋田英万 5
- **127P** Maxwell+ MD マルチスケールシミュレーションを用いた DCMBI 結晶の瞬間誘導ラマン散乱誘起テラヘルツ波発生過程 (筑波大計セ)○山田篤志
- 128P 機械学習を用いたオーダーパラメータの自動探索 (産総研)○高橋和義
- **129P** Lysozyme (GlcNac)₃ 結合における尿素 添加効果の自由エネルギー解析 (阪大院基礎工) ○肥喜里志門, 松林伸幸
- 130P 多粒子座標の不変性及び同変性を考慮した 深層学習モデルの提案 (慶大理工)○山田悠斗, 遠藤克浩, 泰岡顕 治
- 131P 分子動力学シミュレーションおよび位相的 データ解析を用いたイオン液体における微 視的構造の特徴化 (関西大院 1 ,関西大 2) \bigcirc 寺井雄 1 ,齋藤賢 $-^2$,宅間正則 2 ,高橋可昌 2 ,佐藤知広 2
- QM/MM 法による銅含有アミン酸化酵素のプロトン化状態についての理論解析 (筑波大 CCS¹,JST-PRESTO², 大阪医科大³, 阪大産研⁴) ○庄司光男¹,², 村川武志³, 重田育照¹, 林秀行³, 岡島俊英⁴
- 133P 電荷付加カーボンナノチューブを用いたエタノール水溶液の分離 (慶大理工)○小野祐為,山本詠士,泰岡顕治
- 134P 粗視化分子動力学法を用いた環状鎖・線状 鎖混合系のレオロジー解析 (東北大理)○村島隆浩
- 135P 自己組織化イオン液晶の全原子分子モデリング:1D および 3D ナノチャネルの分子輸送機能解析 (兵庫県大院シミュ 1 ,阪大院基礎 \mathbb{T}^2 ,北里大 \mathbb{T}^3 ,東大院 \mathbb{T}^4) 〇石井良樹 1 ,松林伸幸 2 ,渡辺豪 3 ,加藤隆史 4 ,鷲津仁志 1
- 136P セグメントの集合としてみる共重合体膜の 吸水の自由エネルギー解析 (阪大院基礎工)○小嶋秀和,半田和也,山 田一雄,松林伸幸

- 137P 環状ペプチド分子の安定構造探索 (富士通研究所)○谷田義明, 寺島千絵子, 佐藤博之
- 138P 水アルコール混合溶媒中の連結ポルフィリン2量体の熱揺らぎについての分子動力学シミュレーション (北大院工 1 ,北大総合化学院 2) \bigcirc 佐藤信一郎 1,2 ,川村将也 2
- **139P** 取り下げ
- 140P 粒子間相互作用計算カーネルジェネレータ PIKG の開発 (神戸大¹, 理研 R-CCS², 松江高専³) ○野 村昴太郎¹, 岩澤全規³, 行方大輔², 牧野淳一 郎^{1,2}

― 午後の部(前半) ―

13:00-15:00 セッション2

- **201P** 伸線材の微細強化に及ぼす Cr の影響に関する分子動力学解析 (関西大院¹,関西大²)○李響¹,齋藤賢一², 高橋可昌²,宅間正則²,佐藤知広²
- 202P α切断酵素とβ切断酵素の膜貫通部位の構造予測とそのダイナミクス (近大生物理工)○柳野賀緒梨、宮下尚之
- 203P PaCS-MD によるアクトミオシンの結合解離予測
 (東工大生命理工¹,大阪大生命機能²)○尾川拓巳¹,Tran Duy¹,藤井高志²,難波啓一²,北尾彰朗¹
- 204P 薬剤分子のB型肝炎ウイルスへの透過機構の探索
 (名大院工¹,東大創域²) ○弦巻周平¹,浦野 諒¹,藤本和士¹,篠田渉¹,岡崎進²
- 205P 着霜過程のミクロスケール解析 (京大工)○永島健太郎, 松本充弘
- 206P 疎水性相互作用の温度依存性 溶質の性質による影響 (岡山大院自然科学¹, 岡山大基礎研²)○内藤秀文¹, 岡本隆一², 墨智成², 甲賀研一郎²
- **207P** 分子シミュレーションを用いた HSP90 機能阻害薬の作用機構の解明 (近大院・生物理工¹, 電通大・情報理工²) ○松倉里紗¹, 宮下尚之^{1,2}, 瀧真清²
- 208P 機械学習ポテンシャルエネルギー曲面を用いた変分経路積分分子動力学法の開発と応用 (金沢大院自然¹,UBC²)○杉澤宏樹¹,井田朋智¹,三浦伸一¹,Roman V. Krems²
- 209P 第 XI 因子と血小板膜糖蛋白 GPIb α および von Willebrand 因子複合体の動的結合構造予測 (東海大医)○中山正光,後藤信一,後藤信 哉
- 210P 任意の次元における理想気体中の粒子の1 回の衝突による速度変化 (名古屋大工)○仲井文明, 畝山多加志, 土 肥侑也, 増渕雄一
- 211P MD-GAN を使用した固体電解質内のリチウムイオンの拡散係数予測 (慶大理工¹,トヨタ自動車²)○山田悠斗¹,遠藤克浩¹,山﨑久嗣²,泰岡顕治¹

- 212P ガウス型統計集合とレプリカ交換法を結合 した新規シミュレーションの開発と高効率 化
 - (金沢大院自然)○鈴木大介,三浦伸一
- 213P ナノチューブ内におけるテザーナノ粒子の自己組織化 (慶大院理工¹, 慶大理工²)○佐藤碧海¹, 小林祐生¹, 荒井規允²
- **214P** 反応拡散系とカップリングした膜変形シ ミュレーションによる時空間パターンの解 析
 - (東大物性研)○爲本尚樹,野口博司
- 215P 5CB 液晶のネマチック相転移における秩序 化の分子動力学解析 (阪大院基礎工¹, 兵県大院シミュ²) ○竹本 健吾¹, 石井良樹², 金鋼¹, 松林伸幸¹
- **216P** 超音波下における膜付きマイクロバブルの 非線形挙動 —多体散逸粒子動力学シミュ レーション— (慶大院理工 1 , 産総研 2 , 慶大理工 3) \bigcirc 荒木 雄 1 , 高橋和義 2 , 荒井規允 3
- 217P 18 残基チオエーテル結合環状ペプチド p6,p7 のシミュレーションデータの解析 (明治大院理) ○野口大輝, 光武亜代理
- 218P プロトン伝導体 Cs₂(HSO₄)(H₂PO₄) のガ ラス転移における構造と電子状態の変化 — 分子動力学法による研究— (長岡高専) ○松永茂樹
- 219P 分子シミュレーションによる分光分析: フーリエ・ラプラス変換に拡張した離散ウィナー・ヒンチン定理とオンザフライアルゴリズムによる方法 (豊田高専一般 1 , 立命館大理 \mathbf{T}^2 , 山口大理 \mathbf{T}^3 , ChemE, \mathbf{MIT}^4) \bigcirc 小山暁 1 , 深尾浩次 2 , 山本隆 3 , Gregory C. Rutledge 4
- 220P 蝶ネクタイ型ナノグラフェンの構造と電子 状態 (成蹊大理工)○飯田怜央, 富谷光良, 坂本 昇一
- 221P Structural Order of Water Molecules around the Polyrotaxane of PEG with α -Cyclodextrin onto Gold surface by MD Simulation (Univ. Hyogo¹, Univ. Tokyo²) \bigcirc Le Nhu MinhTue¹, Le Van Sang¹, Yoshiki Ishii¹, Kosuke Yamazoe², Yoshihisa Harada², Hitoshi Washizu¹
- 222P 反応分子動力学を用いた層状グラフェン移 着片への雰囲気分子効果の解析 (兵庫県大シミュ)○松岡諒, 石井良樹, 鷲 津仁志

223P Structure and Electronic Properties of a-Si: H Investigated with Quantum Simulation (京都大工) ○李海麗, 松本充弘

224P

氷 Ih における格子欠陥の生成自由エネル

ギー (岡山大院自然科学¹, 岡山大基礎研², 阪大 院基礎工³) ○矢野正樹¹, 矢ケ崎琢磨³, 松 本正和², 田中秀樹²

- 225P 難燃性濃厚電解液における Na イオン拡散の理論的解析
 (早大先進理工¹,京大 ESICB²,早大理工総研³)○土屋佑太¹,小野純一²,³,中井浩巳¹,²,³
- 226P 電子状態計算に基づく分子動力学計算のエネルギー保存検証と拘束条件を用いた効率化

(筑波大・計セ) ○西澤宏晃, 重田育照

- 227P 2成分剛体円板ガラス系における Hopping 鎖運動と準空隙分布の相関 (名工大院工)○柿原唯人, 児山弘昌, 礒部 雅晴
- 228P 溶媒和モーターを用いた大きく重い粒子の 分子動力学シミュレーション (工学院大教育推進 1 ,工学院大先進工 2 ,九 大院理 3) \bigcirc 徳永健 1 ,佐相剛史 2 ,秋山良 3
- 229P レプリカ交換モンテカルロ法を用いたモデル液晶分子における相転移の解析 (慶大理工)○小和口昌愛,Paul Brumby,泰岡顕治
- 230P Electronic Properties of Semiconductor Nanorods (京都大工) ○羅啓崟, 松本充弘
- 231P セルロースナノファイバーのせん断変形挙動における異方性:分子動力学解析 (関西大院¹,関西大²)○和泉幸宏¹,齋藤賢一²,宅間正則²,高橋可昌²,佐藤知広²
- 232P モーフィングを利用してタンパク質の構造 遷移を効率よく評価する (筑波大計セ)○森田陸離, 重田育照, 原田 隆平
- 233P 高分子溶液の潤滑現象 (京都大工)○須崎正裕, 松本充弘
- 234P レプリカ交換分子動力学法を用いた準二次 元多層氷の相図 (慶大理工¹,神戸大理²)○平川和明¹,野村 昴太郎²,泰岡顕治¹

- 235P 拡散理論を用いたタンパク質 リガンド結合の動力学解析 (阪大院基礎工¹, 京大 ESICB²) ○笠原健人¹, 松林伸幸^{1,2}
- **236P** 不均一系における位置に依存した拡散係数の新規手法の提案 (東大新領域 1 ,名大工 2) \bigcirc 永井哲郎 1 ,弦 巻周平 2 ,浦野諒 2 ,藤本和士 2 ,篠田渉 2 ,岡崎 \mathring{a}^1
- NH₄F をドープした Ice I_h 及び Ice II の安定性評価
 (岡山大院・自然科学¹, 阪大院・基礎工², 岡山大・基礎研³) ○田口新平¹, 矢ヶ崎琢磨², 松本正和³, 田中秀樹³
- 238P オートファゴソーム形成に関与する膜タンパク質 Atg9 の膜中配向予測 (理研 CPR¹, 微化研², 理研 BDR³, 理研 R-CCS⁴) ○森貴治¹, 的場一晃², 野田展生², 杉田有治¹,³,⁴
- 239P 四分岐星型高分子ゲルにおける過剰排除体 積によるゲル化促進機構の解明 (慶大理工)○谷口鷹,浅井誠,泰岡顕治
- 240P 氷 Ih に取り込まれた不純物分子の拡散と 相互作用 (岡山大院・自然科学¹ 阪大院・基礎工²

(岡山大院・自然科学¹, 阪大院・基礎工², 岡山大院・基礎研³) ○平田雅典¹, 矢ケ﨑琢 磨², 松本正和³, 田中秀樹³

— 午後の部(後半) —

15:00-17:00 セッション3

- 301P 散逸粒子動力学法を用いた Bio-inspired 材料表面における超撥水/親水の遷移機構解明 (慶大院理工¹, 慶大理工²) ○辻之上弘晃¹, 荒井規允²
- 302P 固体表面付近におけるイオン液体の陽イオン及び陰イオンを変えたときの構造変化 (福井大工)○原田滉平. 古石貴裕
- 303P 温度勾配による極性-無極性分子混合溶液 の相構造変化 (慶大院理工 1 ,慶大理工 2) \bigcirc 加藤優佑 1 ,佐藤洋平 2 ,山本詠士 2
- 304P MAO-Bのリガンド結合部位の動力学とPET **316P** 薬剤の結合自由エネルギー計算 (近大生物理工¹,東北大医系²,東北大CYRIC³) **317P** ○大多和克紀¹,松倉里紗¹,宮下尚之¹,原田 龍一²,木村裕一¹,古本祥三³
- 305P 定量的粗視化力場 SPICA の DNA モデル への拡張: 脂質ナノ粒子の構造予測 (名大院工)○田中裕貴, 宮崎裕介,Akhil Pratap Singh, 篠田渉
- 306P 一様せん断流における界面活性剤の棒状ミセルの動力学とレオロジーへの影響 (阪大)○小井手祐介,後藤晋
- 307P NMR 解析を用いたシニョリンとその変異 体の立体構造の決定 (明治大学大学院) ○小六隼平
- 308P Inverse square flow による効率的なモンテカル分子ロシミュレーション方法の提案(慶應理工)○遠藤克浩, 湯原大輔, 泰岡顕治
- 309P 気液界面における半フッ化炭素のヘミミセル形成 (名大院工)○原田昌吾,Hari O. S. Yadav, 篠田渉
- **310P** 改良メタダイナミクス法の考案と高温水中 多価アルコール脱水反応機構の解明 (東大院・新領域¹,原子力機構²)○近藤友 美¹,²,Chang Yong Lik¹,佐々木岳彦¹,志賀 基之²
- 311P 分割統治型励起状態計算に基づく凝縮系非断熱分子動力学シミュレーション手法の開発と応用 (早大院先進理工¹,早大先進理工²,東邦大薬³,早大理工総研⁴,京大 ESICB⁵) ○浦谷浩輝¹,森岡俊貴²,吉川武司³,中井浩巳^{1,4,5}

- 312P ガラス形成液体のフラジリティとボゾン ピークによるスケーリング性の検討 (阪大院基礎工¹,東大院総合文化²)○大門 翔太¹,水野英如²,金鋼¹,松林伸幸¹
- 313P 疎水および親水ポリマーの微視的集合様態が吸水性に及ぼす影響の解析 (阪大院基礎工)○阪口敦哉,山田一雄,松 林伸幸
- 314P 分子動力学シミュレーションによる、オレキシン2受容体の動的性質の研究 (明治大学)○横井駿、光武亜代理
- 315P 圧延による高分子鎖配向制御を施した PMMA の強度向上に関する分子論 $(名大院工^1, 東大創域^2)$ 〇石川博章 1 , 藤本和 1 , 湯之也 2 , 岡崎進 2
- 316P 水/氷界面における非対称性水素結合構造 (富山大院理工)○北中一也, 石山達也
- 317P 鉱物表面上の水分子吸着膜の構造と安定性解析 (産業技術総合研究所地圏資源環境研究部

門¹,東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境システム学専攻²)○志賀正茂^{1,2},愛知 正温²,徂徠正夫¹

- 318P 機能性有機分子の自己組織化薄膜構造の安定性評価 (慶大理工) 〇松井一真, 渡辺宙志, 清水智子
- 319P 過冷却水中での水素結合破断に伴う多体構造変化:マルコフプロセスで記述する遷移ネットワーク (阪大院基礎工)○菊辻卓真,金鋼,松林伸幸
- 320P 分子動力学によるアルゴンの 3 重点 (法大生命)○片岡洋右
- 321P ベシクルの脂質膜増大に伴う DPD を用いた形状変化解析 (東薬大生命)○三橋弘美,糸賀響,野口瑶,森河良太,高須昌子
- 322P New parallel computing algorithm of molecular dynamics for extremely huge scale biological systems

 (RIKEN R-CCS¹,RIKEN CPR²,RIKEN BDR³,Michigan State University⁴)○ Jaewoon Jung¹,²,小林千草¹,笠原健人³,Cheng Tan¹,Michael Feig⁴,杉田有治¹,²,³
- 323P 高分子/水界面に対するアミノ酸側鎖及び 主鎖の吸着自由エネルギー解析 (阪大院基礎工)○八十島亘宏, 松林伸幸

- 324P Transport Properties of Ionic Liquid and Sodium Salt Mixtures for Sodium-Ion Battery Electrolytes from Molecular Dynamics Simulation with a Self-Consistent Atomic Charge Determination (ESICB, Kyoto University, Kyoto, Japan¹, Graduate School of Engineering Science, Osaka University, Osaka, Japan², Department of Chemistry, Brawijaya University, Malang, Indonesia³, Graduate School of Simulation Studies, University of Hyogo, Kobe, Japan⁴) ∟ Lukman Hakim¹,²,³, Yoshiki Ishii¹,⁴, Nobuyuki Matubayasi¹,²
- **325P** 直鎖および環状オリゴチオフェン単分子の 導電性シミュレーション (北大総化 1 ,北大院工 2) \bigcirc 蘇学銘 1 ,佐藤信 一郎 1,2
- 326P 水処理用多孔膜製造過程の最適化に向けたポリフッ化ビニリデン-有機溶媒-水3成分系の混合自由エネルギー計算 (東大新領域 1 ,東 ν^2) \bigcirc 金子敏宏 1 ,北畑雅弘 2 , 岡崎進 1
- 327P 自由エネルギー反応経路探索法を利用した ジペプチドの膜透過速度計算 (筑波大・計セ) ○満田祐樹, 重田育照
- **328P** OpenMP SIMD ディレクテブ挿入による 第一原理計算プログラム CONQUEST の 高速化

(NIMS 材料数値ステ) ○安藤嘉倫

- 329P 界面超分子系における和周波発生分光スペクトルの第一原理シミュレーション (阪大院基礎工 1 , 東大院総合文化 2 , 筑波大院・数理物質 3 , 物材機構 WPI-MANA 4) \bigcirc 大戸達彦 1 , 奥野将成 2 , 山田周平 3 , 夛田博 1 , 中西和嘉 4 , 有賀克彦 4 , 石橋孝章 3
- 330P セルロースの両親媒性の評価 (京大工)○伊藤憲哉, 松本充弘
- **331P** 水の動的揺らぎで始まる蛋白質 リガンド 解離の分子メカニズム (量研関西) ○米谷佳晃
- 332P PaCS-MD と異常検知を援用したレアイベントサンプリング法の開発 (筑波大計セ)○原田隆平, 山口孝太, 重田
- 333P chain-increment 法を用いたポリマーブレンド相溶性の全原子計算 (阪大院基礎工)○山田一雄, 松林
- 334P Toward Understanding Triboelectric Processes
 (京都大工)○ LIYUXIN, 松本充弘

335P 分子動力学シミュレーションで示す筋疾患 関連タンパク質 FHL1 のダイナミクス (東薬大生命¹, 東薬大薬², 統数研³, 東京医 科大⁴) ○川井俊祐¹, 山田寛尚²,³, 野口瑶¹, 宮川毅¹, 森河良太¹, 高須昌子¹, 林由起子⁴ 336P 分割統治型密度汎関数強束縛分子動力学・ メタダイナミクス計算の階層的並列化 (早大理工総研¹, 早大先進理工², 京大 ES-ICB³) ○西村好史¹, 中井浩巳¹,²,³

337P 超臨界水によるセルロース加水分解の分子 シミュレーション (京都大工)○奥岳人、松本充弘

338P Grimme の分散力補正 DFT 法で計算した ヘテロ原子を含む分子の分子間相互作用エ ネルギーの計算精度

(産総研機能材料)○都築誠二,内丸忠文

- 339P 分割統治型密度汎関数強束縛メタダイナミ クス計算の高効率化とバクテリオロドプシ ンのプロトン輸送への応用 (京大 ESICB¹, 早大理工総研², 早大先進理 エ³) ○小野純一^{1,2}, 竹村俊晃³, 西村好史², 中井浩巳^{1,2,3}
- 340P 水素結合相互作用の球面射影法に基づく液体水の粗視化ポテンシャル (名古屋文理大 情報メディア学科)○本 多一彦

講演者索引

【あ】		梶田晴司	118P	重田育照	109P, 125P,	寺島千絵子	137P
會田勇斗	125P°	片岡洋右	320P°		132P, 226P,	土肥侑也	210P
愛知正温	317P	加藤隆史	135P		232P, 327P, 332P	徳永健	$228P^{\circ}$
秋田英万	126P	加藤優佑	303P°	篠田渉	204P, 236P,	富谷光良	220P
秋山良	228P	金子敏宏	326P°	INCH IS	305P, 309P	鳥居肇	110P, 112P
浅井誠	119P, 239P	川井俊祐	335P°	清水智子	318P	【な】	
荒井規允	115P, 213P,	川手大樹	103P	清水夕美子	124P	内藤秀文	$206P^{\circ}$
	216P, 301P	川村将也	138P	庄司光男	$132P^{\circ}$	中井浩巳	225P, 311P,
荒木雄介	$216P^{\circ}$	菊辻卓真	319P°	杉澤宏樹	$208P^{\circ}$.,,,,,	336P, 339P
有賀克彦	329P	北尾彰朗	107P, 108P,	杉田有治	238P, 322P	仲井文明	210P°
安藤嘉倫	$328P^{\circ}$	70/七年/以	203P	須崎正裕	233P°	中西和嘉	329P
飯田怜央	$220P^{\circ}$	北中一也	316P°	鈴木大介	212P°	中山正光	$209P^{\circ}$
石井良樹	$135P^{\circ}, 215P,$	北畑雅弘	326P	鈴木大輔	105P°	永井哲郎	$236P^{\circ}$
	221P, 222P,	吉川信明	118P°	墨智成	206P	永島健太郎	$205P^{\circ}$
	324P	木村裕一	304P	諏訪原一輝	106P°	行方大輔	140P
石川博章	315P°	金鋼	104P, 215P,	蘇学銘	325P°	難波啓一	203P
石橋孝章	329P		312P, 319P	無子 <u></u> 但來正夫	317P	西澤宏晃	226P°
石山達也	120P, 316P	古石貴裕	114P, 302P	祖休正人 【た】	0111	西田瑠花	126P
石山将成	119P°	小井手祐介	$306P^{\circ}$	平悠太	107P°	西村好史	336P°, 339P
和泉幸宏	231P°	甲賀研一郎	206P	市心太 高須昌子	321P, 335P	野口大輝	217P°
礒部雅晴	121P, 227P	小嶋秀和	136P°	高田彰二 高田彰二	122P	野口博司	214P
井田朋智	208P	後藤頌太	104P°		128P°, 216P	野口瑶	321P, 335P
伊藤憲哉	330P°	後藤信一	209P	高橋和義	131P, 201P,	野田展生	238P
糸賀響	321P	後藤信哉	209P	高橋可昌	231P	野村昴太郎	140P°, 234P
岩澤全規	140P	後藤晋	306P	瀧真清	207P		1101 , 2011
氏家かれん	126P	小林千草	322P	宅間正則	131P, 201P,	【は】 ###	335P
臼井颯馬	103P	小林祐生	115P°, 213P		231P	林由起子	302P°
内丸忠文	338P	小山暁	219P°	田口新平	237P°	原田滉平	
畝山多加志	210P	児山弘昌	227P	竹多泰之	114P°	原田昌吾	309P°
浦谷浩輝	311P°	小六隼平	307P°	武市憲典	118P	Yoshihisa Ha	
浦野諒	204P, 236P	小和口昌愛	229P°	竹村和浩	108P		221P
遠藤克浩	308P°, 130P,	近藤友美	310P°	竹村俊晃	339P	原田龍一	304P
	211P	[さ]	3101	竹本健吾	215P°	原田隆平	109P, 125P, 232P, 332P°
大隅理佐	116P°	齋藤賢一	131P, 231P	田島慶太	101P°	半田和也	136P
大多和克紀	$304P^{\circ}$	齋藤賢一	201P	夛田博一	329P	肥喜里志門	129P°
大戸達彦	$329P^{\circ}$	齋藤健人	112P°	田中泉利	111P°	林秀行	132P
岡崎進	204P, 236P,	阪口敦哉	313P°	田中秀樹	224P, 237P,	平川和明	234P°
	315P, 326P	坂本昇一	220P	- 1 11 100	240P	平田雅典	240P°
岡島俊英	132P	佐々木岳彦	310P	田中浩揮	126P	平塚将起	120P
岡田清志郎	123P°	佐相剛史	228P	田中裕貴	305P°	深尾浩次	219P
岡本隆一	206P	佐藤信一郎	138P°, 325P	谷口鷹	239P°	福澤薫	126P
尾川拓巳	$203P^{\circ}$			谷田義明	137P°	藤井高志	203P
沖田和也	113P°	佐藤碧海	213P°	爲本尚樹	214P°	藤本和士	204P, 236P,
奥岳人	337P°	佐藤知広	131P, 201P, 231P	垂水喜明	124P	除华和土	315P
奥野将成	329P	佐藤博之	137P	大門翔太	312P°	古本祥三	304P
奥脇弘次	126P°	佐藤洋平	101P, 303P	辻之上弘晃	301P°	本多一彦	$340 P^{\circ}$
小野純一	$225P, 339P^{\circ}$	澤井源太郎	103P°	土屋佑太	225P°	【ま】	
小野祐為	133P°	澤田啓介	124P°	土屋裕大朗	126P	牧野淳一郎	140P
【か】		志賀正茂	317P°	都築誠二	338P°	増渕雄一	210P
柿原唯人	$227P^{\circ}$	志賀基之	310P	弦巻周平	236P	松井一真	$318P^{\circ}$
笠原健人	106P, 113P,			弦巻周平	$204P^{\circ}$	松岡諒	$222P^{\circ}$
	235P°, 322P			寺井雄亮	131P°		

松倉里紗	$207P^{\circ}, 304P$	村川武志	132P	山田寛尚	335P		305P
松永茂樹	$218\mathrm{P}^{\circ}$	村島隆浩	134P°	山本詠士	101P, 120P,	Arash Nikou	
松林伸幸	102P, 104P,	村田隆	$122P^{\circ}$		123P, 133P, 303P		115P
	106P, 111P,	望月祐志	126P	山本隆	219P	Cheng Tan	322P
	113P, 116P, 129P, 135P,	森岡俊貴	311P	山本博輝	102P°	Chang Yong	Lik
	136P, 215P,	森河良太	321P, 335P	湯原大輔	308P		310P
	235P, 312P,	森貴治	$238P^{\circ}$	横井駿	314P°	Deboprasad '	
	313P, 319P, 323P, 324P,	森田陸離	$109\mathrm{P},232\mathrm{P}^{\circ}$	吉川武司	311P		103P
	333P	[や]		吉森匠	117P°	Gregory C. F	0
松本正和	224P, 237P,	矢ヶ崎琢磨	224P, 237P,	米谷佳晃	331P°		219P
	240P		240P	米持悦生	126P	Hari O. S. Ya	
松本充弘	205P, 223P, 230P, 233P,	安井正人	101P	[6]			309P
	330P, 334P,	泰岡顕治	119P, 120P, 123P, 130P,	羅啓崟	230P°	Jaewoon Jun	0
	337P		133P, 211P,	李海麗	223P°		322P°
的場一晃	238P		229P, 234P,	李響	201P°	Mark Sanson	
三浦伸一	105P, 117P, 208P, 212P	/II m + r /a/s	239P, 308P 109P°	LIYUXIN	334P°	Michael Feig	
三浦俊次	120P°	保田拓範	323P°	Lukman Hak	im	Paul Brumby 229P Roman V. Krems	
水野英如	104P, 312P	八十島亘宏	202P°		324P°	Roman V. K	rems 208P
	217P, 314P	柳野賀緒梨	224P°	Le Nhu Minh	Tue	m D	107P, 203P
光武亜代理	,	矢野正樹	332P		221P°	Tran Duy	,
満田祐樹	327P°	山口孝太	211P	Le Van Sang	221P	Tran Phuoc	Duy 108P
三橋弘美	321P°	山﨑 久嗣		【わ】		MI 그 III	
宮川毅	335P	Kosuke Yama	azoe 221P	鷲津仁志	103P, 135P,	湯之也	315P
三宅雅輝	110P°	Triange SI	130P°, 211P°		221P, 222P		
宮崎裕介	305P	山田悠斗 山田篤志	127P°	渡辺豪	135P		
宮澤佳希	108P°		116P, 136P,	渡辺宙志	318P		
宮下尚之	202P, 207P, 304P	山田一雄	313P, 333P°	【その他】		(記号。 は発表者となっ	
麦田大悟	121P°	山田周平	329P	Akhil Pratap	Singh	ている講演に	記されてい
VIII						ます。)	